

社会科（地図）

社会科（地図）について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

選定の観点

- 1 学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識・技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること
- 2 習得した知識・技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること
- 3 生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること
- 4 生徒が我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を身に付けられるとともに、歴史的分野や公民的分野の学習においても幅広く活用しやすいよう工夫・配慮がなされていること
- 5 資料が新しく適切に配置・表現されているとともに、生徒が地理情報の収集や処理などの地理的技能を身に付ける際に活用しやすいよう工夫・配慮がなされていること
- 6 生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること
- 7 系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること
- 8 表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること

社会科（地図）

調査研究の結果の概要

■東京書籍「新しい社会 地図」

世界の各州や日本の各地方のページには、基本資料とテーマ資料として、地域を概観することができる一般図、地域の特徴を掴むための地域の自然・人口・産業・宗教等の様々な主題図が配置されている。また、文化財や世界的な諸課題等、歴史的・公民的な視点からも地域を概観できる資料が提示されるなど、生徒が多面的に地理的な知識を身に付けられるよう、よく工夫されている。

随所に設定されているキャラクターの吹き出しには、言語や気候、資源、国内総生産等の資料を読み取る視点に加え、さらに深く考察するためのヒントや探究課題等が明示されており、生徒が思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されている。

また、日本の領域の特色や領土をめぐる問題を扱うページでは、日本の東西南北の端に位置する島や排他的経済水域とともに、日本固有の領土である竹島、尖閣諸島、北方領土について写真を取り入れながら解説されるなど、生徒が日本の領域の特色や領土をめぐる問題について理解を深められるよう工夫されている。「日本の自然環境」のページでは、日本の自然災害の現状や傾向がわかる資料や実際のハザードマップ、東日本大震災の地震発生の状況や津波の被害地域など、生徒が防災・減災に対する意識や態度を高められるよう工夫されている。

古代から近世までの日本と世界の関係や日本の古地図、18世紀の太平洋交易の地図が示されるなど、歴史的分野との関連が図られている。また、「ピックアップ TOKYO」として、霞ヶ関や東京オリンピック・パラリンピックに関する地図や資料に加え、人口・貧困問題や紛争・難民問題等の現代的な諸課題も取り上げられるなど、公民的分野との関連も図られている。また、関連資料の具体的な活用場面が「歴史・公民マーク」で明示されているなど、生徒にも使いやすく、優れている。

全体を通して、写真や資料が豊富に掲載され、日本の一般図の地名などには、全てゴシック体のふりがなが付されるなど、文字の書体や大きさも鮮明で、読みやすく視覚的効果が高まるよう工夫されている。

■帝国書院「中学校社会科地図」

全てのページに、言語や気候、資源、国内総生産等の地図を読み取る際の視点や地図からわかることを整理、説明する具体的な活動が明示されている「地図活用」が配置されている。また、地図の種類や構成、記号やマークの意味、色や点、線が示す意味が紹介されるなど、生徒にとって基本的な地図帳の見方や使い方がわかりやすく、地図を活用する基本的な技能が身に付けられるよう工夫されており、優れている。また、随所に設定されている「地図活用」の問いでは、資料を読み取る視点等に加え、地理的な見方・考え方が系統立てて掲載されており、地球的課題や世界各地の主な課題、世界と日本の地域的特色を比較したり、考察したりする言語活動等が設定されるなど、よく工夫されている。

日本の領域の特色や領土をめぐる問題を扱うページでは、領土・領海・領空・接続水域等の概要の模式図、日本の東西南北の端に位置する島の写真と概要等や日本固有の領土である竹島、尖閣諸島、北方領土が写真付きで解説が設けられている。また、世界地図の中に同緯度・同経度・同縮尺の日本地図が掲載され、世界の国々と日本の大きさ比べや緯度や経度による位置関係が常に比較で

きるなど、生徒が世界と日本とを結びつけながら、地理的認識が身に付けられるようよく工夫されている。

「日本の自然災害・防災」のページでは、日本の自然災害の現状や防災に関する取組等の関連資料が掲載されているとともに、「防災」マークが付いた関連資料が多数掲載されており、各地方の自然災害やその対策について模式図をもとに理解を深め、また、日本7地方の学習を通して、防災について系統的に学びを深められるよう工夫されており、優れている。

日本や世界の一般図に「重要な歴史地名・事項」や「おもな歴史地名・事項」が示されており、また、巻末の「日本の統計」には、都道府県ごとの「65歳以上の割合」や「合計特殊出生率」の項目が用意されるなど、歴史的分野や公民的分野でも活用できるよう工夫されている。

地図が大きく見やすく、地域全体や地域間の結びつきを広域的に捉えやすい。また、鳥瞰図が多数掲載され、イラストなどを交えてわかりやすく表現されている。主な資料図の縮尺を統一することで、資料図同士の比較を容易にすることで、生徒が必要な情報が読み取りやすいよう工夫されている。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

選定の観点		選定の視点		東京書籍	帝国書院
1	学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識・技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること	1	基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた工夫	○	◎
		2	活用できる一般図・主題図・統計・写真・資料の充実	◎	○
		3	地図帳の使い方の提示	○	◎
2	習得した知識・技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること	1	習得した知識・技能の活用を促す工夫	○	○
		2	課題を追究したり解決したりする学習や言語活動の充実の工夫	○	○
		3	思考力・判断力・表現力の育成に向けた工夫	○	◎
3	生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること	1	主体的・対話的な学習に向けた工夫	○	○
		2	探究意欲を高める工夫	◎	○
		3	発展的な学習活動につながる工夫	○	○
4	生徒が我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を身に付けられるとともに、歴史的・分野や公民的分野の学習においても幅広く活用しやすいよう工夫・配慮がなされていること	1	我が国の国土や世界の諸地域に関する地理的認識を養うための工夫	○	◎
		2	防災学習を深めるための工夫	○	◎
		3	歴史的・分野や公民的分野における活用の工夫	◎	○
5	資料が新しく適切に配置・表現されているとともに、生徒が地理情報の収集や処理などの地理的スキルを身に付ける際に活用しやすいよう工夫・配慮がなされていること	1	地図や資料の新しさや詳しさ、見やすさや分かりやすさの工夫	○	○
		2	地図を見る視点の提示	○	◎
6	生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること	1	人権教育の推進	○	○
		2	道徳教育の推進	○	○
7	系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること	1	単元構成の系統性・発展性	○	○
		2	他教科や教育課題等との関連	○	○
		3	他校種との接続	○	○
		4	家庭・地域との連携	○	○
8	表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること	1	文字や写真、図表等の適切さ、正確性、使いやすさ	○	◎
		2	ユニバーサルデザインの視点	○	○
		3	装丁や編集の適切さ、堅牢性の工夫	○	○
		4	用紙、インク等の環境面への配慮	○	○

【社会科（地図）】観点別資料

【選定の観点１】

学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識・技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名	
2 東書	4 6 帝国
○言語や気候、資源、国内総生産等の地図を読み取る際の視点が、キャラクターの吹き出しにより随所に示されており、生徒が地図を活用する基本的な技能が身に付けられるよう工夫されている。 ○世界の各州や日本の各地方には、基本資料とテーマ資料として、地域を概観することができる一般図、地域の特徴を掴むための自然・人口・産業・宗教等の様々な主題図が配置されている。また、地理的な面からでなく、文化財や世界的な諸課題等、歴史的・公民的な視点から地域を概観できる資料が提示されるなど、生徒が多面的に地理的な知識を身に付けられるようよく工夫されている。 ○巻頭の「この地図帳の活用方法」では、3ページにわたって地図記号や一般図の見方などが解説されており、基本資料やテーマ資料の具体的な活用例が示されるなど、生徒にとって地図帳の活用方法が理解しやすい。	○全てのページに、言語や気候、資源、国内総生産等の地図を読み取る際の視点や地図からわかることを整理したり、説明したりする具体的な活動が明示されている「地図活用」が配置されており、生徒が地図を活用する基本的な技能が身に付けられるよう工夫されており、優れている。 ○世界の各州や日本の各地方には、基本資料とテーマ資料として、地域を概観するための一般図、地域の特徴を掴むための自然・人口・産業・宗教等の様々な主題図が配置されている。また、世界の各州には、自然環境や生活・文化、産業等をイラストで示す鳥瞰図が設けられるとともに、それらと「日本との結びつき」を示す資料も掲載されるなど、生徒が地理的な知識を身に付けられるよう工夫されている。 ○巻頭に、地図帳の使い方が5ページにわたって解説されている。地図帳の凡例が見やすく分類されて示されるとともに、地図の種類や構成、地図中の記号やマークの意味、色や点、線が示す意味などが紹介されており、生徒にとって基本的な地図帳の見方や使い方がわかりやすく、優れている。

【選定の観点2】

習得した知識・技能を活用しながら，生徒が問題発見・解決的な学習，話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み，多面的・多角的に考察しながら，思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名	
2 東書	4 6 帝国
○各所に設定されている「ジャンプ」マークには，適宜，関連資料の掲載ページが参照として示されており，生徒が複数の資料を比較したり，関連性を読み取ったりしながら，地域の特色をより深く捉えられるよう工夫されている。 ○世界の各州や日本の各地方の「テーマ資料」には，課題発見や課題解決に必要な情報の収集に役立つ主題図や写真が数多く掲載されており，温泉地と地熱発電の関係等，生徒が課題の解決に向けて，多面的・多角的に考察できるよう工夫されている。 ○随所に設定されているキャラクターの吹き出しには，言語や気候，資源，国内総生産等の資料を読み取る視点に加え，さらに深く考察するためのヒントや探究課題等が明示されており，生徒が思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されている。	○随所に設定されている「地図活用」の問いに，資料から読み取ったり考えたりしたことを説明する活動が設定されており，生徒が学習した内容を活用しながら，地域の特色をより深く捉えられるよう工夫されている。 ○世界の各州や日本の各地方に設定される「資料」には，課題を追究する学習に役立つよう，自然・産業・宗教等の多様な内容が掲載されている。また，特設ページ「世界の環境問題」「世界の生活・文化」や日本の地域的特色に関するページでは，果樹園と高速道路の関係等，課題解決に向けた学習課題が明示されるなど，生徒が多面的・多角的に考察できるよう工夫されている。 ○随所に設定されている「地図活用」の問いでは，資料を読み取る視点等に加え，地理的な見方・考え方が系統立てて示されており，また，地球的課題や世界各地の主な課題と日本の状況を比較して考察する活動等が設定されるなど，生徒が地理的な見方・考え方を働かせながら，思考力・判断力・表現力等を身に付けられるようよく工夫されている。

【選定の観点3】

生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名	
2 東書	46 帝国
○随所に設定されているキャラクターの吹き出しには、資料を読み取るためのポイントやさらに深く考察するためのヒントが示されており、それを活用して生徒が主体的・対話的な学習に取り組めるよう工夫されている。 ○巻頭で、「世界を変えるための17の目標」としてSDGsが特集されているとともに、6ページにわたって環境、貧困問題等の現代的な諸課題が印象的な写真とともに紹介されるなど、生徒の関心を高めながら、探究意欲が高まるよう工夫されている。また、現代的な諸課題に加え、地理・歴史・公民3分野の教科書を補完する図版、解説付き写真等が数多く掲載されるなど、探究的な学習に活用できるようよく工夫されている。 ○少子高齢化が進む日本の現状を理解し、その解決に向けて考えを深める課題等が示されている「スキル・アップ」コーナー、関連資料が掲載されるページを示し、複数資料から学習の広がりを持たせる「ジャンプ」コーナーなど、生徒が発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。	○随所に設定されている「地図活用」の問いには、資料から読み取ったり、考えたりしたことを説明する活動が設定されており、それを活用して生徒が主体的・対話的な学習に取り組めるよう工夫されている。 ○人口問題、資源・エネルギー問題、環境問題など、多様なテーマから世界や日本の諸課題が取り上げられており、また、日本に起こりやすい自然災害やそれに対する対策についてわかりやすく解説するなど、生徒が問題意識を持ちやすいテーマに関する資料が充実しており、探究意欲が高まるよう工夫されている。 ○環境に関する資料図を扱うコーナーでは、ラムサール条約の登録湿地を取り上げるなど、環境、人口、資源・エネルギー等の幅広い分野で世界と日本を比較しながら深く問題を捉えられるよう、関連資料が豊富に取り扱われており、生徒が発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。

【選定の観点4】

生徒が我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を身に付けられるとともに、歴史的分野や公民的分野の学習においても幅広く活用しやすいよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名	
2 東書	4 6 帝国
○日本の東西南北の端に位置する島や排他的経済水域とともに、日本固有の領土である竹島、尖閣諸島、北方領土について写真を取り入れながら解説されるなど、生徒が日本の領域の特色や領土をめぐる問題について理解を深められるよう工夫されている。また、世界の各州のテーマ資料には、日本との比較や関わりを示す資料が掲載されており、生徒が日本と世界の結びつきを意識しながら、学習を進められるよう工夫されている。 ○「日本の自然環境」のページで、日本の自然災害の現状や傾向がわかる資料や実際のハザードマップ、東日本大震災の地震発生の状況や津波の被害地域など、防災・安全に関する資料が掲載されるなど、生徒が防災・減災に対する意識や態度を高められるよう工夫されている。 ○地理的分野はもとより、古代から近世までの日本と世界の関係や日本の古地図、18世紀の太平洋交易の地図が示されるなど、歴史的分野との関連が図られている。また、「ピックアップTOKYO」として、霞ヶ関や東京オリンピック・パラリンピックに関する地図や資料が掲載されるとともに、人口・貧困問題や紛争・難民問題等の現代的な諸課題も取り上げられるなど、公民的分野との関連も図られている。さらに、関連資料の具体的な活用場面が「歴史・公民マーク」で明示されているなど、生徒にとって使いやすい、優れている。	○「日本の領土とそのまわりの国々」のページでは、領土・領海・領空・接続水域等の概要の模式図が掲載されているとともに、日本の東西南北の端に位置する島の写真と概要、排他的経済水域が示されている。また、「日本列島」のページでは、日本固有の領土である竹島、尖閣諸島、北方領土が写真付きで解説が設けられている。さらに、世界地図の中に同緯度・同経度・同縮尺の日本地図が掲載され、世界の国々と日本の大きさ比べや緯度や経度による位置関係が常に比較できるとともに、世界の各州と日本との結びつきを示す資料が配置されるなど、生徒が世界と日本とを結びつけながら、地理的認識を身に付けられるよう工夫されており、優れている。 ○「日本の自然災害・防災」のページで、日本の自然災害の現状や防災に関する取組等の関連資料が掲載されている。また、日本の各地方では、「防災」マークが付いた関連資料が多数掲載されており、各地方の自然災害やその対策について模式図をもとに理解が深められるよう工夫されるなど、生徒が日本7地方の学習を通して、防災について系統的に学びを深められるよう工夫されており、優れている。 ○日本や世界の一般図に、「重要な歴史地名・事項」や「おもな歴史地名・事項」が示されている。また、巻末の「日本の統計」には、都道府県ごとの「65歳以上の割合」や「合計特殊出生率」の資料が掲載されるなど、生徒が歴史的分野や公民的分野でも活用できるよう工夫されている。

【選定の観点5】

資料が新しく適切に配置・表現されているとともに、生徒が地理情報の収集や処理などの地理的技能を身に付ける際に活用しやすいよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名	
2 東書	4 6 帝国
○最新の資料が使われている。また、近畿地方では、京都市・奈良市・神戸市の主な文化財と観光地が比較できるよう構成されるなど、生徒がそれぞれの都市の特色を読み取りやすいよう工夫されている。 ○巻頭の「この地図帳の活用方法」では、イラストの教師や友人たちが話す吹き出しに、言語や気候、資源、国内総生産等の地図や資料を読み取る視点、地図帳の活用方法等が示されており、生徒にとってわかりやすく、地理情報を読み取る技能が身に付けられるよう工夫されている。	○最新の資料が使われている。また、近畿地方では、大阪市・京都市・奈良市の中心部が同縮尺で掲載されており、生徒が都市の広がりや大きさなどを比較しながら、読み取り、特色を捉えることができるよう工夫されている。 ○生徒が地図から情報を読み取り、処理しやすいよう、土地の高さで色分けしたり、陰影を付けたりして、立体感のある地図を表現する「等高線段彩表現」が用いられている。また、地域の生活や産業の様子を読み取りやすくするため、地域の産業や特産物を「絵記号」で多数掲載するとともに、土地利用の表現もわかりやすく配慮されるなど、生徒が地理情報を収集・整理しやすいよう工夫されており、優れている。

【選定の観点6】

生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。

発行者名	
2 東書	4 6 帝国
○世界の紛争や難民問題に関する資料、沖縄戦や原子爆弾の投下に関する資料等が用意されており、現代社会的な視点と歴史的な視点から、生徒が平和や人権の大切さ、生命の尊重などについて考えを深められるよう工夫されている。 ○ご当地キャラクターや東北地方の食文化、日本の生活・文化など、各地域の伝統と文化に関する資料が掲載されており、生徒が伝統や文化の尊重、郷土を愛する態度など道徳的価値について深く考えられるよう工夫されている。	○世界の生活や文化に関する資料、世界の諸地域の文化や風習等の多様な姿を写す資料等が用意されており、また、都道府県名等を手話で表すコーナーが設けられているなど、生徒が人権や多文化共生、生命の尊重等について考えを深められるよう工夫されている。 ○日本の各地域の祭りや行事、食文化等が掲載されており、生徒が伝統や文化の尊重、郷土を愛する態度など道徳的価値について深く考えられるよう工夫されている。

【選定の観点 7】

系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名	
2 東書	4 6 帝国
○世界の各州や日本の各地方のページでは、一般図、基本資料、テーマ資料の順で構成されており、巻末の統計資料と併せて、生徒が系統的に各地域の特色を捉えていくことができる構成となっている。 ○テーマごとに関連する資料が参照できる「資料さくいん」が設けられており、生徒にとって他教科の学習の際にも活用しやすい。また、巻頭に8ページにわたって、SDGs との関連を含め、現代的な諸課題を捉えるための特集ページが設けられている。 ○巻頭には世界の国や首都を示した世界地図、巻末には日本の都道府県と県庁所在地を示した日本地図が掲載されるなど、生徒が小学校での学習内容を振り返りながら、学習を進められるよう工夫されている。	○世界の各州は、「一般図」→「鳥瞰図（ながめてみよう）」→「資料図」、また、日本の地方は、「一般図（地方別地図）」→「一般図（拡大図）」→「資料図」という配列で構成されており、生徒が系統的に各地域の特色を捉えていくことができるよう工夫されている。 ○各地域の資料図に、「環境」「防災」マークが付けられた関係資料が掲載されているとともに、地球的課題や地域の課題から各地域の特色を捉えることができる資料が用意されているなど、現代的な諸課題を含め、教科横断的な活用が図れている。 ○巻頭の「地図帳の使い方」では、小学校で学習した地図帳の使い方等が示されており、生徒が小学校で身に付けた技能を活用できるよう工夫されている。

【選定の観点8】

表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

発行者名	
2 東書	46 帝国
○写真や資料が豊富に掲載されている。また、日本の一般図の地名などには、全てゴシック体のふりがなが付されるなど、文字の書体や大きさも鮮明で、生徒にとって読みやすく視覚的効果が高まるよう工夫されている。 ○ユニバーサルデザインフォントや不要な陰影や立体感のあるデザインをなくす「フラットデザイン」が採用されている。 ○造本が堅牢で、十分な耐久性を備えている。 ○再生紙と植物油インキが使用されている。	○地図が大きく見やすく、地域全体や地域間の結びつきを広域的に捉えやすい。また、鳥観図が多数掲載されており、イラストなどを交えてわかりやすく表現されているため、生徒にとって必要な情報が読み取りやすい。さらに、主な資料図の縮尺を統一することで、資料図同士の比較が行いやすく、地域の特色やその考察が見だしやすいなど、生徒にとって使いやすい。 ○ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインが採用されている。 ○造本が堅牢で、十分な耐久性を備えている。 ○環境に優しいフレッシュパルプと植物油インキが使用されている。